

フランス発！！

初開催以来、延べ904万人が熱狂した世界最大級のクラシック音楽祭

ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 2025

2025年 5月3日(土・祝) ～ 5月5日(月・祝)

テーマは「^{メモワール}Mémoires — 音楽の時空旅行」

開催決定

ラ・フォル・ジュルネTOKYO 2025運営委員会（三菱地所株式会社／株式会社東京国際フォーラム／株式会社KAJIMOTO）は、2025年5月3日（土・祝）から5月5日（月・祝）のゴールデンウィークの3日間、世界最大級のクラシック音楽祭「ラ・フォル・ジュルネTOKYO 2025」（以下LFJ）を開催致します。

2005年の第1回開催から20年、様々なチャレンジを続けてきたLFJが今回お送りするテーマは「^{メモワール}Mémoires — 音楽の時空旅行」。

文化と創造の素晴らしい中心部となった、都市の音楽の記憶を世紀ごとに語ります。ヴェネツィア、ロンドン、ウィーン、パリ、ニューヨーク・・・あらゆる芸術家や作曲家はこれら都市の名声に惹かれて集まり、そこは芸術・音楽の要地にもなりました。各都市の記憶を覗きに時空の旅へ出かけてみませんか？

今回のLFJも朝から晩まで同時に多数繰り広げられるバラエティ豊かな有料コンサートはもちろんのこと、講演会*やワークショップ*、無料コンサート、グルメ&ショッピングエリアなど、赤ちゃんからクラシック通まで誰もが1日中楽しめるコンテンツが盛り沢山の音楽祭。

GWは音楽の島でお待ちしております！

^{メモワール}2025年のテーマは「Mémoires — 音楽の時空旅行」

音楽の発展に多大な貢献をした都市とその時代にスポットライトを当てます。

音楽史が、一時期に文化・創造の中心地となった幾つかの大都市を軸に形成されてきたことは、まぎれもない事実です。これら、世界を明るく照らす灯台のような都（みやこ）は、ある時代に天才たちを一挙に惹きつけ、芸術・音楽の要地となり、その輝かしい影響力によって文明の歴史に消えることのない足跡を残しました。

ヴェネツィアは、1600年から1750年まで、西洋音楽の発展の中心地でした。この時代にヴェネツィアで生まれた新たな音楽形式の幾つかは、のちの西洋音楽に影響を与えることになります。

18世紀前半には、経済的繁栄を謳歌した**ロンドン**が、バロック音楽・前古典派音楽の一大中心地となり、ドイツ、イタリア、フランスをはじめとするヨーロッパ各地の音楽家たちを引き寄せました。なかでもドイツ出身の作曲家ヘンデルは、40年にわたりロンドンの音楽シーンを牽引しました。

18世紀半ばに楽都として台頭した**ウィーン**は、ハイドンとモーツァルトが古典派の黄金期を築くと、西洋クラシック音楽の真の拠点となります。古典派からロマン派の時代への転換期には、人生の大半をウィーンで過ごしたベートーヴェンが主役となり、そしてその後もウィーンは20世紀初頭まで百花繚乱の楽壇を誇りました。

19・20世紀の転換期には、世界中の優れたアーティストたちが集結した“光の都”こと**パリ**が、西洋クラシック音楽史の主要な舞台となります。パリ万国博覧会が開かれた際には、ドビュッシーら、フランスの作曲家たちはもとより、マーラー、リムスキー＝コルサコフ、といった当時の音楽界のそうそうたる顔ぶれが次々に会場を訪れました。この時代のパリは、とりわけ勉強や演奏／創作活動のために隣国スペインから訪れた音楽家たちにインスピレーションを与えたのです。

いっぽう大西洋の向こうでは、20世紀に**ニューヨーク**が世界の音楽シーンの“震源地”の一つとなりました。今日に至るまで数々のジャズ・ミュージシャンを世界に送り出してきたニューヨークは、ミュージカル発祥の地でもあり、驚くべき懐の深さで、つねに限りなく多様な音楽スタイルを受け入れてきました。

アーティストック・ディレクター ルネ・マルタン

一部出演者／プログラムは12月下旬に発表いたしますのでお楽しみに！

*有料公演チケット（及び半券）の提示が必要

【ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 2025】実施概要



- 催事名：ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 2025
- テーマ：^{メモワール}Mémoires — 音楽の時空旅行
- 開催日程：2025年5月3日（土・祝）～5月5日（月・祝）
- 会場：東京国際フォーラム、大手町・丸の内・有楽町 他
- LFJ チケット販売サイト先行発売開始：2025年2月中旬(予定)
- チケット一般発売開始：2025年3月中旬(予定)
- 公演数：有料公演 90 公演 ※ホールA・C・D7・G409・B5の5会場で実施（無料公演調整中）
- 主催：ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 2025 運営委員会
(三菱地所株式会社/株式会社東京国際フォーラム/株式会社 KAJIMOTO)
- 協賛：SMBC 日興証券/エムエム建材/大林組/オリバー/鹿島建設/協栄/齋久工業/
シアターワークショップ/シー・アイ・シー/昭栄美術/大気社/大成建設/東京エイドセンター/
東建社/ナブコシステム/ニ幸産業/日本不動産管理/ボックス・ワン/三菱地所設計/森村設計/
横浜エレベータ ※2024/10/30 現在
- 企画制作：CREA/KAJIMOTO

「ラ・フォル・ジュルネ」(LFJ) とは

「ラ・フォル・ジュルネ」は、1993年フランス西部の港町ナントで「クラシックの民主化」を掲げて誕生したクラシック音楽祭。世界中からアーティストが集い、一流の演奏を、1公演約45分、低料金で、朝から晩まで繰り広げます。日本では、2005年から毎年ゴールデンウィークに開催。有料公演のほか、誰でも気軽に演奏を楽しめる地上広場でのコンサートなどのオープンプログラム、マスタークラス、有料公演チケット（及び半券）の提示で参加できる数々のイベント（コンサート、子ども向けプログラム、講演会など）が行われ、子どもから大人まで楽しめます。また、音楽祭期間中は、丸の内などの周辺エリアでもミニコンサートが行われ、街中が音楽一色に包まれます。

過去の開催の様子

©LFJ TOKYO 2024



<ホールA 0歳からのコンサート/ホールC・ホールD7・G409 多彩な有料公演の数々>



<地上広場 キオスクステージ(無料公演)/ホールE キオスクステージ*/フォル・ニュイ(聴衆参加型イベント)*>



<マスタークラス>

<講演会>

<地上広場に多数展開するキッチンカー>



<ガラス棟・ホールE 出展ブース>

<ホールD1 当日券販売>

<サイン会>

〔本件に関するお問合せ先〕 ラ・フォル・ジュルネTOKYO事務局（KAJIMOTO内）ラ・フォル・ジュルネ室 滝田 / 若林

Mail: lfjtokyo2025@kajimotomusic.com Fax: 03-3574-0980